

経営比較分析表（平成28年度決算）

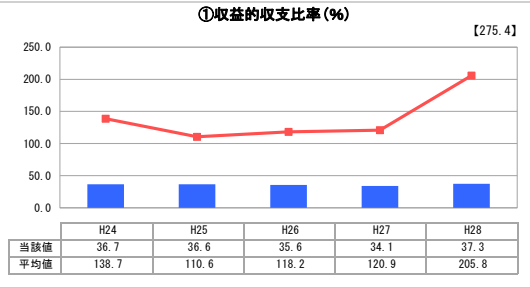
奈良県奈良市 奈良市営ＪＲ奈良駅第１駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	19	

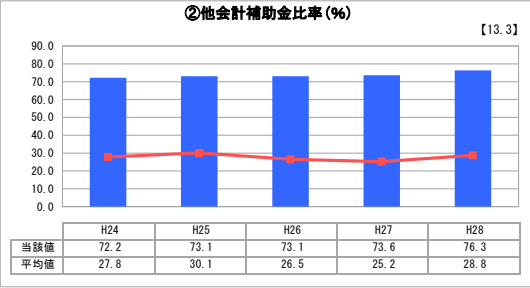
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
駅	無	5,833
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
187	300	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 平成28年度全国平均

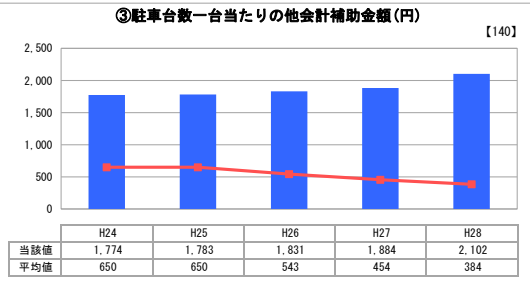
1. 収益等の状況



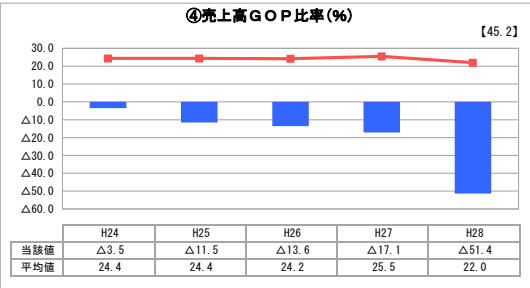
「経常損益」



「他会計補助金割合」

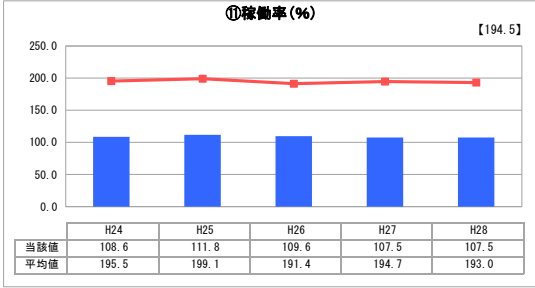


「他会計補助金額」

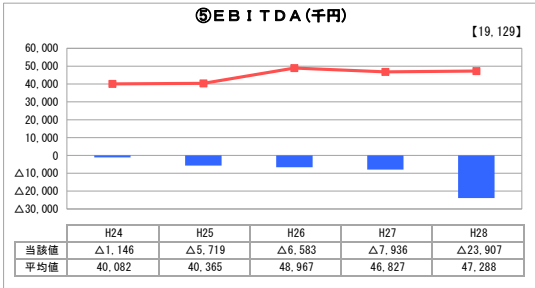


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

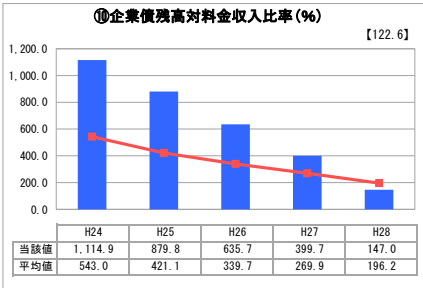


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)
1,127,913
⑧設備投資見込額(千円)
1,000



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
建設より年数が経ち、維持補修などの管理経費が上昇傾向であり、ビルの共益費などに費用が掛かり、他市の類似施設に比べて、他会計からの補助金の比率が高くなっており、GOPをはじめとした収益も低くなっている。

2. 資産等の状況について
市債の償還は、平成29年度で終了予定であり、その後は維持管理補修などの設備投資がかかるものの、新たに市債を借りない範囲で対応予定である。

3. 利用の状況について
駅前駐車場という立地に恵まれている状況だが、周辺に民間の駐車場が多くあることもあり、他市の類似施設よりも稼働率が低いため、利用客の増加策や民間売却案などを検討する必要がある。

全体総括
収支の状況は他市の類似施設と比べて良くないが、平成29年度に市債の償還が終わり、機器の更新が平成28、29年度で終わるため、補助金の受け入れ額が減る予定である。
今後は、それに加え、指定管理料をはじめとした収益的収支面での見直しを行い、補助金の縮減を図っていく。